

齋喜 璃音 (長岡高等学校1年生)

ホストファミリーから、街歩きしながら多くのことを教えてもらった。個々のアイデンティティを大切にすることが重要だとわかった。

高野 七実 (新潟高等学校1年生)

アメリカの飲食店はビーガンやハラールの表示があり衝撃だった。日本はまだ食の多様性の配慮が足りていないと感じた。

原澤 桃花 (六日町高等学校2年生)

ホストファミリーが歓迎してくれて、日本ではできない体験をさせてもらった。出会えて良かった。

井口 咲楽 (国際情報高等学校2年生)

アメリカに行き、日本を以前と違う視点で見られるようになった。自分の目で確かめることは、ネットで調べることよりもはるかに情報量が多かった。

笠原 八尋 (十日町高等学校3年生)

アメリカで多くの建物を見て、日本との構造の違いを感じた。建築士になる夢への経験値になった。

加藤 有純 (六日町高等学校3年生)

石兼大使の「問題解決には一人ひとりの信用の積み重ねが大切」という言葉から、人から信頼され、世界で活躍できる人になりたいと思った。



報告会 フリートーク

小島 涼 (六日町高等学校3年生)

LGBTQ+ (性的少数者) の連帯を示す虹のステッカーが街中にあふれていることが新鮮だった。LGBTQ+に温かい社会を作りたい。

報告会来場者の感想より

- アメリカを訪れて知った、文化や宗教の違いなどの多様性を受け入れているアメリカの様子から、日本のこれからについて自分の意見を述べていたのがすばらしかったです。
- 自分の夢を見つめるいい海外派遣になりましたね。夢に向かって頑張ってください。
- 生きている事のすばらしさ、テロの悲惨さ、悲しさなど、人の気持ちに寄り添ってたくさん学んできたんだと泣きそうになりました。

報告内容は、ホストファミリーのみなさんと過ごした経験や、国際連合、総領事・大使表敬訪問、9.11メモリアルミュージアム、ワシントンでの大学訪問やリンカーン記念堂見学のことなど、十人十色の発表でした。

この研修の中で得たさまざまな気づきは、派遣生それぞれの人生に大きな影響を与えることでしょう。



報告会終了後 大坪会長を囲んで